

てんさい新品種候補	<b>「KWS 4S65」の概要</b>	道立北見農試、十勝農試、中央農試、上川農試、北農研センター 北海道てん菜協会(北海道糖業株、日本甜菜製糖株、ホクレン)
-----------	----------------------	--

**1. 特性一覧表**

系統名	KWS 4S65	来歴	「KWS 4S65」は、ドイツのKWS種子株式会社が育成した三倍体単胚の一代雑種である。平成14年に日本甜菜製糖株式会社が輸入した。平成16年より輸入品種生産力検定試験に供試し、平成17年より特性検定試験ならびに現地検定試験を行った。
-----	----------	----	---

特性	長所	1) 「えとぴりか」より根重が多く、糖量が優る。 2) 黒根病抵抗性が“やや強”で、「えとぴりか」より優れる。	短所	1) 褐斑病抵抗性が“弱”である。 2) 「えとぴりか」より根中糖分が低い。 3) 「えとぴりか」より不純物価が高い。
	場所		場所	

普及見込面積	平成19年度2,000ha	平成20年度以降5,000ha以上
--------	---------------	-------------------

系統・品種名	KWS 4S65	モノホマレ (標準品種)	えとぴりか (対照品種)
形質			
倍数性	三倍体	二倍体	三倍体
葉姿	やや開平	直立	やや開平
葉長	中	長	中
葉数	中	やや多	中
葉形	やや楕円	皮針	楕円
クワの大小	やや小	小	小
根形	やや短円錐	円錐	やや短円錐
分岐根	少	少	少
露肩	中	中	中
根重(t/10a)	8.35(111)	7.49(100)	7.65(102)
根中糖分(%)	16.72(102)	16.35(100)	17.09(105)
糖量(kg/10a)	1,391(114)	1,221(100)	1,305(107)
修正糖量(kg/10a)	1,215(116)	1,046(100)	1,156(111)
アミノ態窒素(meq/100g)	2.12( 95)	2.22(100)	1.92( 86)
カリウム(meq/100g)	4.11( 88)	4.65(100)	3.73( 80)
ナトリウム(meq/100g)	0.55( 79)	0.70(100)	0.50( 71)
不純物価(%)	4.56( 89)	5.15(100)	4.03( 78)
特性検定試験			
褐斑病抵抗性	弱	やや弱(やや強)	弱
根腐病抵抗性	やや弱	やや弱(弱)	弱
耐湿性	中	やや弱	やや弱
抽苔耐性	強	強	強
黒根病抵抗性	やや強	中	中*
そう根病抵抗性		やや弱	

注1) 形態的特性は十勝農試の直播栽培による成績。その他は移植栽培による成績であり、北見、十勝、中央、上川、北農研、てん菜協会(3カ所)の計8カ所平均で、試験年次は3カ年(平成16~18年)。但し、平成18年中央・上川農試、平成17年日甜は除く。( )内は「モノホマレ」に対する百分比。

2) 特性検定は担当農試の成績で、褐斑病抵抗性、根腐病抵抗性における「モノホマレ」の( )内は品種登録時の評価。

3) \*: 「えとぴりか」の黒根病抵抗性は平成17年度の単年度成績に基づく判定。

4) 「KWS 4S65」はそう根病抵抗性を持たないので、特性検定試験に供試していない。

## 2. 「KWS 4S65」の特記すべき特徴

根重が多く、「えとぴりか」より根中糖分は低いものの、糖量で優る。また、黒根病抵抗性が、現在栽培されている品種中で最も強い“やや強”であり、「えとぴりか」より優れる。

## 3. 優良品種に採用しようとする理由

砂糖需要の低迷等を背景として平成 17 年に出された「砂糖及び甘味資源作物政策の基本方向」では、最低生産者価格の撤廃が明記されるなど、てんさい生産を取り巻く状況は厳しさを増している。このような中で生産者の収益を安定的に確保するために、てんさい品種には糖量の増加に加え、耐病性の向上が求められている。

平成 14 年に優良品種に認定された「えとぴりか」は根中糖分、品質の優れた品種として、平成 18 年には 15,000ha 以上作付け（平成 18 年度作付けシェア 22%）されているが、一部地域においては根重が伸び悩んでいる。

また、てんさいの重要病害である黒根病は、排水不良畑を中心として夏期が高温多雨の年に発生しやすく、発病程度のひどい株は圃場廃棄の対象となるため、減収被害は大きい。防除対策としては、抵抗性品種の導入が最も効果的とされているが、「えとぴりか」を含め現在作付けされている品種の大半は抵抗性が“中”であり、生産者からは更に抵抗性の向上が求められている。

「KWS 4S65」は、「えとぴりか」と比較して根重が多く、根中糖分は低いものの、糖量で優る。また、黒根病抵抗性が“やや強”で「えとぴりか」の“中”より優る。さらに、耐湿性も“中”で「えとぴりか」の“やや弱”より優る。

以上のことから、「KWS 4S65」を「えとぴりか」で根重が不足する地域や黒根病の発生が懸念される地域で栽培し、北海道一円に普及することにより、てんさいの安定生産に寄与できる。

## 4. 栽培適地

北海道一円

図 1. 「KWS 4S65」の糖量

（対「えとぴりか」百分比表示）

：輸入品種検定試験、品種連絡試験

3 力年平均成績(平成 16～18 年)



## 5. 栽培上の注意

- 1) 褐斑病抵抗性が“弱”なので、適切な防除に努める。
- 2) そう根病抵抗性を持たないので、発病圃場での栽培は避ける。